資料３－１

多様な地域の維持・活性化の意義（要約案）

知識社会・成熟社会への変化
工業社会下でのモノの充足、所得の向上、インフラ整備の進展等
↓
価値観・ライフスタイルの多様化
経済的側面の相対化、ＱＯＬ・満足度（充足感）の重視
（趣味・社会参加等による自己実現、生き甲斐の実感、誇りと愛着の持てる地域社会と居住空間）
↓
政策における個人の「満足度」の向上の重視
社会参加度や社会とのつながり（絆、縁）の強さを示す指標の検討の必要性
（企業への就労、ＮＰＯ活動、ボランティア・コミュニティ活動への参加等）

↓

個人の満足を実現する場として多様な地域の存在は不可欠
固有の文化・伝統、自然環境・居住環境
自然に恵まれた地域の生活・生産活動　←→　利便性と機能性に優れた
（中小都市・農山漁村等）　　都市の生活・産業活動
互いに対極にあるものとしての価値
異質なものとの接触、異質な人との交流が個人の創造力を高め、個人の可能性を増大

地域間の互恵関係が支えてきた国土構造
－　特色ある地域が、様々な機能を各々担いつつ、相互依存的に補完、連携
（人の育成、知と財の生産、国土保全、資源供給、自然環境、海洋を含む領域等の保全・管理、・・・）
地域の国土全体への貢献、地域間の共生の考え方について国民的コンセンサスの形成
地域間の互恵関係の再構築
地域間の対等な協力関係の確立

↓

持続可能で自立的な地域の創造
・地域の担い手（個人、ＮＰＯ、企業、自治体等）と他地域の担い手との間の多様なつながりにより地域間の連携と交流を推進し、個々の地域の創造性を高めていく
・多様な個々の地域相互が文化、経済、社会等様々な側面から重層的に連携した奥行きの深い圏域を形成することにより、持続可能で自立的な地域を創造する
↑
地域・広域・全国など様々なレベルでの人・モノ・資金・知恵・情報の双方向的循環を重層的に形成

⇧

人口減少社会に対応した社会システム構築に挑戦する国土のフロンティア
（中小都市や農山漁村等の自然に恵まれた地域）